

年 組 名前：



井村 賢紳
木場 菜摘

ヤマネの通路など視察

北杜でグリーンインフラセミナー



ヤマネブリッジを視察する
参加者＝北杜市高根町清里

経団連自然保護協議会（西沢敬二会長）は、北杜市高根町清里の清泉寮自然学校などで、グリーンインフラについて学ぶセミナーを開いた。

11月20、21の両日に開催。20日は一般社団法人「ヤマ

ネ・いきもの研究所」（同市高根町下黒沢）の担当者らが講師を務め、県道で分断された森林をヤマネが自由に行き来できるように設置した「ヤマネブリッジ」や「アニマルパスウェイ」などを視察した。建設の経緯の紹介や、実際にヤマネが横断する際に利用することなどを紹介した。

21日は、防災に自然を役立てる「グリーンインフラ」の事例について学ぶ講演などがあった。協議会の岡林隆太事務局次長（29）は「ヤマネブリッジを建設した経緯や思いを聞くことができ、よかった。企業は自然との共生について考えてほしい」と話した。

体験を通じてグリーンインフラについて学び、自然との共生をする企業の活動に生かしてもらおうと企画。県内外の企業から約10人が参加した。（井村賢紳）

（2025 年 12 月 5 日付 山梨日日新聞 19 面）

問1

「グリーンインフラ」とは、どのような取り組みですか。各自で調べて答えてください。

.....

問2

セミナーで視察した「ヤマネブリッジ」について説明してください。

.....

問3

「グリーンインフラ」が、なぜ必要なのか、あなたの考えを自由に答えてください。

.....

.....